

冊 サンフレンズだより

第2回市民のつどい を開催いたします

「検証！介護保険 10年」

2000年4月にスタートした介護保険制度も10年を迎えます。介護保険の目的は、「措置から契約へ」、「家族介護から介護の社会化へ」の転換です。10年を経過した今、介護現場はどのように変わったのでしょうか。ご利用者やご家族にとって、介護保険サービスは「必要なとき」「必要なだけ」使えているのでしょうか。ご利用者やご家族の声に耳を傾け、介護保険における問題提起をしたいと考えます。是非、皆様の参加をお待ちしております。



No.52 2009.11.21
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833



<多くの方が参加された第1回市民のつどい>

～自分らしく生きようこの杉並で～ 第2回市民のつどい

日時： 2010年 1月31日（日）13:00～16:00

場所： 未定（決定次第、お知らせいたします）

内容： 「検証！介護保険 10年」と題しての基調講演や介護現場からの声、またパネルディスカッション等を企画

※昨年、好評だったアトラクションも用意しています。お楽しみに。

祝25周年



<「新しいホームをつくる会」関係者の方々>

サンフレンズの設立母体のひとつである「NPO 法人新しいホームをつくる会」が、11月15日（日）「発足25周年&NPO 法人設立10周年－祝う会－」を開催しました。

当日は、理想は高く遠くにかかげながら“今すぐできることから”一步一步、歩まれてきた25年の道のりと事業の紹介がありました。

田寺会長は、「ご利用者中心のサービスを第一に、誰のための福祉、何のためのサービスかを見極めながら歩み続けたい。」とこれからの展望を述べられ和やかに会は終了しました。おめでとうございます。

施設公開を行いました



＜永福ふれあいの家：
目をひくパネル展示で事業内容を紹介＞

2004年から始まった施設公開も、今年で6回目を迎えました。

少しでも地域の方にサンフレンズのことを知ってもらおうと、各事業所ではPR活動や施設公開の内容にも力が入りました。

特に、今年はいこれまでの「待ち」（地域の方が来るのを待つ）の姿勢ではなく、準備段階から商店街や学校、障害者施設など地域を巻き込み、たくさんの方に関わっていただくことができました。

具体的には、町内会の回覧板に施設公開案内のチラシを入れていただいたり、ポスターを掲示・配布したり、施設の外に幟を立てたり、その成果は十分ありました。施設公開に訪れた方の中には、「チラシを見たから」、「通りがかったらお知らせが出ていたので」と、足を運んでくださった方もいました。

また、施設公開の内容もサンフレンズからの一方的なものではなく、地域参加型の催し物を開催



＜サンフレンズ善福寺：
入居者手作りのおいしいクッキーを販売＞

するなど、新たな試みも取り入れました。

フリーマーケットには31団体の参加がありました。その他、恒例のお祭りや地域との共同作業による模擬店、ご利用者の作品販売および展示、福祉用具紹介など、みんなで知恵を出し合い、工夫を凝らした施設公開となりました。

およそ1週間の開催期間中、生憎の天候にもかかわらず、例年以上の参加と盛り上がりを見せました。

そして、この施設公開で催し物に参加した学生や児童との新たな出会いもあり、若い世代にもサンフレンズや各施設を知る機会となりました。これは、なによりも地域の皆様のご理解とご支援の賜物であります。皆様との交流は、今後のサンフレンズの糧となります。

お忙しい中、施設公開に関わってくださった皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



＜サンフレンズ上井草：
地域と共に企画したフリーマーケット＞



＜松ノ木ふれあいの家：
杉並・老後を良くする会による模擬店＞

地域活動の紹介 第7回

上井草園では、日頃から災害時の訓練や対策を通して地域との交流を深めています。例えば、「総合防災訓練」は、上井草自治会の協力のもと年2回実施しています。昨年、今年と20名近い地域の方が参加され、訓練後の反省会では、普段私たち職員だけでは気づかない貴重な意見や感想もいただきました。

また、地域の方に上井草園を助けてもらうだけでなく、地域の一員として、毎年9月に職員が井草中学校へ行き、上井草自治会の震災救援訓練に参加しています。

今回は、防災活動を通して広がった地域との交流をご紹介します。

阿波踊り観賞

防災活動で地域との交流を深めるうちに、上井草自治会のご配慮で、高円寺阿波踊りの「飛鳥連」の皆様が上井草園に来てくださいました。「飛鳥連」は、高円寺パル商店街の方が結成した30年余りの歴史を持つ阿波踊りのグループです。

ちょうど10月12日に行われた「第2回すぎなみ舞祭」に参加された足で、上井草園まで踊りの披露にいらっしゃいました。笛や太鼓にあわせて、赤いハッピー姿の子ども達、編み笠姿の女性陣、ほっかむり姿の男性陣と、総勢25名近くの踊り手達が1階から2階へ練り歩きました。園内は一気にお祭りムードとなり盛り上がりました。

ご利用者も笛や三味線にあわせて、一緒に手拍子をしたり、踊ったりと、にぎやかな雰囲気になりました。



<ヤットサーヤットサー 踊らにゃソソソソ>

さつまいものプレゼント

毎年、秋になると荻窪消防少年団の子ども達が、掘りたてのさつまいもをプレゼントに来てくれます。荻窪消防少年団は、荻窪消防署管内の小学4年生から中学3年生で構成され、防災に関する学習やキャンプ、芋ほりなどの野外活動を行っています。

今年も約40名の子ども達が、ダンボール一杯のさつまいもを持って来てくれました。

きびきびとさつまいもを届ける子ども達の動作には、頼もしさすら感じられ、秋晴れのように爽やかでした。

また、子ども達一人ひとりに、ご利用者へ簡単な自己紹介をしてもらいました。照れながらも一生懸命に話す様子に、自然とご利用者の顔もにこやかになりました。和やかでとてもよい雰囲気でした。

今年のさつまいもはやや小ぶりでしたが、ご利用者のおやつとして、美味しくいただくことができました。

さらに、ボランティアへおすそ分けしたり、絵手紙の材料などにも活用しました。



<穫れたてのさつまいも、いただきま〜す>

このように、上井草園では、防災活動をきっかけに地域との交流の輪が広がっています。ひとつの活動が次の活動へとつながり広がっていくという、素晴らしい関係をこれからも結んでいきたいと思ひます。

そして、地域の一員としてお互いに助け合えることを目指したいと思ひます。

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2009年9月1日から10月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》石井彪様・松尾廣高様・小林弘様・田中義恭様・谷島百合子様・伊藤弘武様・森田洋子様・安藤ひさを様ご家族様・NPO 法人新しいホームをつくる会様・匿名希望1名

《物品等》川崎千秋様・中島太吉様・大山晃司様・渡辺一雄様・草野節子様・鈴木康雄様・匿名希望8名

ボランティア紹介

第38回

ご利用者も自分も楽しく



<いつも笑顔の野中由喜子さん>

今回は、松の木ふれあいの家で、今年の8月24日からボランティア活動を開始された野中由喜子さんをご紹介します。

最近まで野中さんは、主に統合失調症の方が日帰りで憩う「やどかりの里」で勤めていました。「やどかりの里」ではプログラムを作らず、一人一人が自由に過ごします。野中さんはそこで、面接の実施や相談を受ける仕事を11年間されていました。

そんな野中さんが活動をはじめるとききっかけとなったのは、「安らぎ支援員講座（認知症高齢者を介護する家庭を訪問して、本人や家族を支援する『安らぎ支援員』として必要な知識・技術を学ぶ講座。杉並区からの委託で『NPO 法人 新しいホームをつくる会』が行っています。）」です。施設実習で松の木ふれあいの家を訪れた時に、地域でボランティア活動をしたいと考えていた野中さんが、近所に活動できる場所があることを知る機会になりました。

野中さんは、週3回午後に来て、ご利用者の話し相手や、手工芸、プログラムのお手伝いなどを

してくれます。

野中さんからは、松ノ木ふれあいの家での活動について、「ご利用者は、皆さんお元気で楽しい。またご利用者の笑顔はとても素敵。人それぞれ笑顔はちがうので、それぞれの笑顔を引き出せたら良いなと思っています。」と感想をいただきました。

また、「ご利用者が活躍していた時代のお話を伺っている時は、コミュニケーションが円滑にとれるような気がします。ふれあいの家にいると、自分も笑っている時間がとても多いです。リハビリ体操もとてもためになります。」ともお話ししてくださいました。

すべてのご利用者に優しく穏やかに接して下さる野中さんです。職員も野中さんを見て、日々勉強させていただいています。

これからも末永くよろしくおねがいします。



<優しい人柄がご利用者に慕われています>

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03(3394)9833

FAX : 03(3394)9834

担当 : 中山・眞田・河野

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp